

平成25年度 図書館まつり
田中和雄さん講演会を開催しました！

○日時	12月7日（土） 13:30～
○場所	豊橋市中央図書館 3階集会室
○講師	田中和雄さん（童話屋 編集者）
○講演テーマ	詩のトビラ ひらけごま！
○参加人数	54名

12月7日・8日と中央図書館で開催した「平成25年度 図書館まつり」の一大イベントとして、7日（土）に田中和雄さん講演会を行いました。

田中和雄さんは株式会社「童話屋」の創設者であり編集者で、ベストセラーとなった「葉っぱのフレディ～いのちの旅～」の出版も手がけてこられた方です。

今年度より、豊橋市草間町にアイプラザ豊橋がオープンしました。イトーヨーカドー豊橋店にあった子ども図書館の本がその図書室に寄贈されたことを受けて、子ども図書館の経営をしていた「童話屋」の方をお招きすることができました。

講演会は「詩のトビラ ひらけごま！」をテーマに、詩の味わい深さや考え方を多彩な表現でお話され、感銘を受ける方が多くいらっしゃいました。

石川啄木は、詩人の資格を「人でなければならない。とにかく人でなければならない。」と表現しました。詩人はうそや偽りを言わず、心の感じるままに表現すべきだと語ったそうです。

また、茨木のり子、くどうなおこ、川崎洋、吉野弘、谷川俊太郎、俵万智など、日本を代表する詩人の方との交流など貴重なエピソードを数多くお聞きすることができました。特に、朝日新聞の天声人語で紹介された茨木のり子さんの有名な詩「倚りかからず」については、ご主人に先立たれ誰も頼る人がいなかったときに、木（自然）にだけは、せめて寄りかかってもよいだろうという気持ちが込められているなど、作者の思いや裏話を知ることができ、詩の世界を堪能できました。



ご来場された方からは、次のようなご意見・ご感想を頂いております。

- ・詩を作るのは難しいと思っていましたが良い方法を教えていただき私にもできるかも…と楽しくなりました。
- ・詩は難しく縁のないものだと思っていたが作文からの展開に新しさを覚えました。
- ・学校の先生方もお誘いしたかったです。詩が楽しく身近に感じられました。
- ・絵本のトビラも、物語のトビラも、詩のトビラと同じだなと思いました。絵本を好きになろうと思いました。

童話屋が出版した絵本のほか、田中さんの編集された詩集「ポケット詩集」・「パタポン」なども豊橋市図書館で貸出ができます。是非この機会に詩の世界を味わってみてはいかがでしょうか。